佳作　（低学年の部）

「生意気言っちゃうけど」

埼玉県　さいたま市立与野南小学校　三年
杉井（すぎい）　ひまり

「ねぇたぬきちゃん。」
とよくわたしはお父さんから言われます。わたしは、おこる時もあればわらう時もあります。お母さんから、ひまりちゃんがかわいいから言うんだよと聞きました。でも、わたしは、いやです。

　わたしのお父さんは、いやなことも言うけど、おもしろいことを言ったり、いきなり、おどったり、ひょうきんな陽気なお父さんです。小さいころから、おもしろいことをしてくれて、わたしをたくさんわらわせてくれていました。だからこそ、学校でも、いつもずっとにこにこしてわらっていられると思います。お父さんは、わたしにぴったりなお父さんだと思います。

　それに、お父さんは、休みの日に一しょにねる時、オリジナルの話をしてくれます。わたしは、おもしろくて、何回聞いてもあきないなと思っています。

　ひまりという名前は、お父さんがつけてくれた名前です。ひまわりのように明るく、ひだまりのようにやさしい子になりますようにというねがいでつけてくれました。わたしはすてきでユニークなので気に入っています。

　お父さんにとって、ひまわりは、とくべつなお花です。なぜなら、わたしの名前の由来のお花だからです。小さいころから、ひまわりばたけにつれていってくれました。まい年行きたいと言っていることもあります。わたしのことがそんなに大切なんだなとあきれてしまいます。

　わたしはいつもお父さんに生意気を言っています。ついついいかりがばくはつしてしまうのです。この前も、友だちと水泳の習いごとに行く時、お父さんが一しょについていきたいと言うので、
「ぜったいにこないで！本当に本当にこないで！」
とてもとてもこわい顔でにらみました。でも、お父さんは、後から一人で練習を見にきてくれました。まどから、ずっとこっちのことを見ていたので、わたしは手をふりました。ちょっとこわくいいすぎちゃったかなと思いました。お父さんの気もちになったら、少しかわいそうと分かっています。頭の中に小さくその気もちは入っていますが、いつもはそのドアをあけれないのです。ついつい生意気なことを言ってしまいます。

　いつもは言えないけど、本当はすごく感しゃしています。お父さん、ありがとう。これからも、今まで通り生意気に言っていきます。